

キ/コも通信

第22号

平成26年1月21日

発行責任者 尾崎直利

大寒を控えた1月18日、厳しい冷え込みの中、12歳から63歳までのメンバー、20名が集結。

道具箱の設置や、冬季における作業の風物詩となった猪汁の調理、シイタケを育てるための木の伐採に心地よい汗を流しました。

集合写真が最終の帰宅時となったことから、少し早く作業を切り上げられたメンバーが写っていません。どうも、すみません(-.-)

おまけに、写真担当を事前に決めていなかったこともあり、今回は写真も少ないです。。



道具箱設置完了 (*^_^*)



駐車スペースから活動フィールドまでの長い道のりは、一部整備もしていますが、水による浸食で悪路となっている箇所があります。活動が活発になるにつれて、必要となる資材も多くなってきたことから、増えた資材を毎回搬入することが、大変になってきました。そこで、持続的な活動を確保するため、少し大きめの道具箱を設置することとしました。設置した道具箱は、施錠もできますので、高価でない活動資材は、活動フィールドに常時置いておくことが可能です。

幼少期の頃、わくわくしながら作った秘密基地、同じような喜びを感じながらの作業となりました。現場合わせの素人作りですので、耐久性に不安が残りますが、次回の活動で防腐剤処理をすることとしていますし、雨対策も講じてますので、当面の間は大丈夫でしょう。

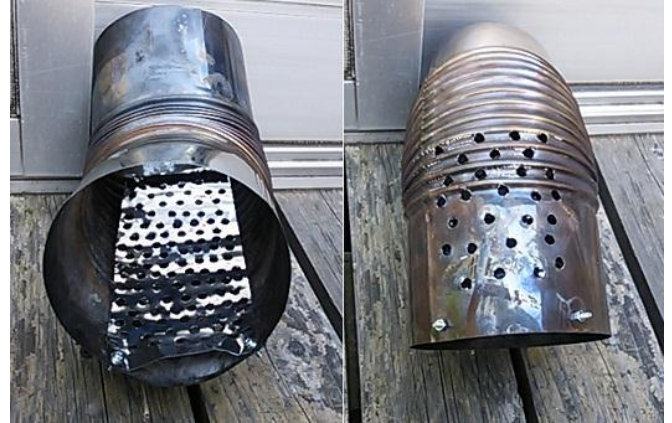
あとは、年間予算も見極めながら、効率よく資材を保管するための棚も設置していく予定です。



ロケットストーブコンロ試作機第2号は好調

前回の失敗を糧に、改良を加えた試作機第2号。新たに空気の取り入れ口を燃焼部分の下部に設けることで、燃焼効率が格段に向上しました。その結果、完全燃焼により、焼却灰の量が少なくなるなど、事前に調査したロケットストーブの効果をしっかり引き出すことが出来ました。

ロケットストーブの普及は、里山からの恵みである薪の活用策として有効ですので、持続的な里山の保全に向けて、今後も検証と改良を重ねていきます。



今年もシイタケを作るぞう



柚人班が、5本のクヌギを伐採し、玉切りしたものを乾燥させていますので、次回から、シイタケ菌を植菌します。

メンバー全員がホダギを持ち帰ることが出来る数を確保するためには、更に木を伐採しなければなりませんので、メンバー各位の積極的な参加をお願いします。

また、今年の春から少しずつシイタケが収穫できる予定です。お楽しみに。

次回活動日のお知らせ

活動日 平成26年2月1日(土)

時間 午前8時30分 市役所東玄関前駐車場

内容 木の伐採。玉切り。シイタケの植菌。

道具入れの制作(防腐剤処理等)。

道具箱を完成させる大工班、いのしし汁を作る調理班、木を伐採する柚人班、植菌するキノコ班を大募集します。みなさんの積極的な参加をお待ちしています。



メンバー募集 キノコクラブでは常時メンバーを募集しています。

公務員も仕事外の活動に参画し、地域おこしや社会貢献をどんどんやろうじゃないか。こんな想いを持つ全国の国・地方の公務員が、「地域に飛び出す公務員ネットワーク」のもとで活躍しており、キノコクラブのメンバーも活動内容を全国に発信しています。

里山からの恵みを享受しながら、持続可能な活動を目指しています。みなさまの積極的な参画をお願いします。

興味のある方は、木津川市役所観光商工課武田までヨロシク。